

MicroPatent® PatSearch Fulltext: Record 1 of 1

Reference: YK

Search scope: US Granted US Applications EP-A EP-B WO JP (bibliographic data only)

Years: 1991-2007

Patent/Publication No.: JP2000288482

[Go to first matching text](#)

JP2000288482 A
METHOD FOR CLEANING MEDICAL
IMPLEMENT
TECHNO INTER KK

Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To make it possible to easily clean medical implements by rubbing these medical implements with a melamine resin foam wetted with water and alcohol.

SOLUTION: The melamine resin foam of about P kg/m² in a bulk specific gravity having dense closed cells is cut to a rectangular parallelepiped of 2 cm×4 cm×3 cm. The cut foam is wetted with the water and the alcohol, is wrung and is used to rub a denture. The melamine resin foam is wetted with a 70% ethanol solution, is lightly wrung and is used to rub a nasopharyngoscope. Further, the melamine resin foam is wetted with the water, is lightly wrung and is used to rub a spectacle lenses. As a result, the surfaces of the medical implements, such as medical inspection appliances, may be easily and completely cleaned.

[no drawing]

COPYRIGHT: (C)2000,JPO&Japio

Inventor(s):

SHIMIZU AKIHIKO
 TATSUMI KAZUO
 WATANABE YOSHIHIKO

Application No. JP199995653A **Filed** 19990402 **Published** 20001017

Original IPC(1-7): B08B000100
 A61C001702 A61L000218 B08B000704

Current IPC-R:

	invention		additional
Advanced	B08B000100	20060101	
	A61C001702	20060101	
	A61L000218	20060101	
	B08B000704	20060101	

Core	invention		additional
	B08B000100	20060101	
	A61C001700	20060101	
	A61L000218	20060101	
	B08B000704	20060101	

Priority:

JP199995653A 19990402

Patents Citing This One No US, EP, or WO patent/search reports have cited this patent.

No data available



Home



Search



List



First



Prev

Go to



Next



Last

For further information, please contact:

[Technical Support](#) | [Billing](#) | [Sales](#) | [General Information](#)



当No.2070/
<315214>

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-288482

(P2000-288482A)

(43)公開日 平成12年10月17日 (2000.10.17)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
B 0 8 B 1/00		B 0 8 B 1/00	3 B 1 1 6
A 6 1 C 17/02		A 6 1 L 2/18	4 C 0 5 8
A 6 1 L 2/18		B 0 8 B 7/04	A
B 0 8 B 7/04		A 6 1 C 17/036	

審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 2 頁)

(21)出願番号 特願平11-95653

(22)出願日 平成11年4月2日 (1999.4.2)

(71)出願人 599044618

有限会社テクノ・インター

大阪府箕面市半町3丁目13番47号205

(72)発明者 清水 明彦

兵庫県西宮市上田中町18-35-901

(72)発明者 巽 一夫

京都府京都市西京区大枝南福西町3-10-12

(72)発明者 渡辺 喜彦

滋賀県大津市大江3-17-20

(74)代理人 100068032

弁理士 武石 靖彦 (外2名)

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 医療用具の清浄化方法

(57)【要約】

【課題】 義歯や各種医療用器具等の医療用具を、だれもが容易に、物理的に、清浄化でき方法を提供する。

【解決手段】 水及び／又はアルコールで濡らしたメラミン樹脂発泡体で、医療用具を擦って清浄化するもので、メラミン樹脂発泡体としては、連続気泡を有するもので、高密度が8～11 kg/m³程度のものを使用するのが好ましい。

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 水及び／又はアルコールで濡らしたメラミン樹脂発泡体で、医療用具を擦って清浄化することを特徴とする医療用具の清浄化方法。

【請求項 2】 医療用具が義歯であることを特徴とする請求項 1 の清浄化方法。

【請求項 3】 前記メラミン樹脂発泡体が、連続気泡を有するものであり、その嵩密度が $8 \sim 11 \text{ kg/m}^3$ であることを特徴とする請求項 1 または 2 の清浄化方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、各種医療用具を清浄化するための方法に関する。

【0002】

【従来の技術】義歯に付着した茶渋やタバコのヤニ、歯石等の汚れは、義歯洗浄剤液に漬けておいても、なかなか取れない。そこで、義歯に付着した茶渋、タバコのヤニ、歯石等の汚れに対しては、化学的な方法よりも、物理的な方法の方が、安全で確実と思われるが、義歯を傷つけることなく、完全に清浄化する手段は存在しなかった。例えば、消しゴムを擦った場合、まだら模様になりやすく、また、サンドペーパーでは、義歯が傷つき易く、汚れは除去できても、義歯表面の艶がなくなり、汚れ易いものとなる。更に、胃カメラ等の医療用検査器具も、完全に清浄化することは困難であり、汚れが完全に落ちていなかったため、その使用によって、患者の身体を害する危険性があった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、このような義歯や医療用検査器具等の医療用具を、だれもが容易に、清浄化できる方法を提供することを課題とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明では、水及び／又はアルコールで濡らしたメラミン樹脂発泡体で、これらの医療用具を擦ることにより、上記課題を解決した。

【0005】メラミン樹脂は、熱硬化性樹脂で、耐薬品性に優れ、安定して存在するものであり、その発泡体は、絶縁材、吸音材、断熱材などとして使用されることはあるが、医療用素材としては使用されていない。 *

*【0006】しかし、本発明者は、メラミン樹脂発泡体、特に緻密な連続気泡を有する発泡体を、水及び／又はアルコールに浸漬し、軽く絞ったもので、義歯や医療用検査器具等の表面を擦ると、通常のブラシや洗浄液等ではなかなか取れない汚れを、容易に除去できることを見だし、本発明を完成したのである。

【0007】メラミン樹脂発泡体としては、特に限定されないが、連続気泡を有する、嵩密度が $8 \sim 11 \text{ kg/m}^3$ であるものを使用するのが好ましい。

10 【0008】

【発明の実施の形態】次に、本発明を実施例に従って説明する。第 1 例では、緻密な連続気泡を有する約 9 kg/m^3 の嵩比重のメラミン樹脂発泡体を $2 \text{ cm} \times 4 \text{ cm} \times 3 \text{ cm}$ の直方体に裁断し、これを水に濡らし、絞ったもので、義歯を擦った。義歯には、茶渋やタバコのヤニ、歯石等が付着していたが、上記発泡体で、義歯表面を擦るだけで、容易に、これらの汚れは除去され、その後、水洗するだけで義歯を使用した、違和感なく、非常に新鮮な感覚で、使用できた。

20 【0009】なお、第 1 例の義歯の汚れは、通常、義歯洗浄液を使用し、超音波洗浄しても、難しいものであったが、本発明に従って、上述の例では、義歯表面は全く傷つくことなく、数分間で、非常に美しく仕上がった。

【0010】第 2 例では、第 1 例と同様のメラミン樹脂発泡体を、70%エタノール溶液で濡らし、軽く絞ったもので、鼻咽腔鏡を擦った。その結果、通常の洗浄方法では、取れ難かった汚れが、簡単に除去された。

【0011】第 3 例では、第 1 例と同様のメラミン樹脂発泡体を、水で濡らし、軽く絞って、眼鏡のレンズを擦った。眼鏡のレンズは傷つくことなく、簡単に清浄化され、曇りのない、非常に見やすいものとなった。

【0012】なお、本発明の方法は、レントゲン撮影機器、聴診器、血圧計、その他の医療用具の清浄化にも、これらの例と同様、非常に有効に適用できた。

【0013】

【発明の効果】本発明では、樹脂発泡体を水やアルコールで濡らして使用するだけで、義歯や医療用検査器具等の医療用具の表面を、従来の洗浄液等を使用した場合よりも、容易に、より完全に清浄化できる。

フロントページの続き

F ターム(参考) 3B116 AA46 AB52 BA08 BA23
4C058 AA13 AA15 BB07 JJ07 JJ08
JJ21 JJ23